

2024年10月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年12月13日

上場会社名 株式会社ジェネレーションパス 上場取引所 東
コード番号 3195 URL <https://www.genepa.com/>
代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 岡本 洋明
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 鈴木 智也 (TEL) 03-5909-2937
定時株主総会開催予定日 2025年1月30日 配当支払開始予定日 —
有価証券報告書提出予定日 2025年1月30日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年10月期の連結業績(2023年11月1日~2024年10月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年10月期	16,235	7.2	81	—	22	△69.0	△138	—
2023年10月期	15,151	△5.2	△4	—	71	△81.9	△23	—

(注) 包括利益 2024年10月期 △116百万円(—%) 2023年10月期 △14百万円(—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年10月期	△17.10	—	△7.6	0.5	0.5
2023年10月期	△2.87	—	△1.2	1.6	△0.0

(参考) 持分法投資損益 2024年10月期 -百万円 2023年10月期 -百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年10月期	4,520	1,767	38.9	216.73
2023年10月期	4,417	1,910	42.5	231.17

(参考) 自己資本 2024年10月期 1,759百万円 2023年10月期 1,876百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年10月期	261	78	10	1,206
2023年10月期	119	△319	△236	893

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年10月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2024年10月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2025年10月期(予想)	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 現時点において、2025年10月期の配当予想額は未定であります。

3. 2025年10月期の連結業績予想(2024年11月1日~2025年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	17,500	7.8	120	46.8	120	438.4	90	—

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無
 新規 一社(社名)一、除外 一社(社名)一

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年10月期	8,277,240株	2023年10月期	8,277,240株
② 期末自己株式数	2024年10月期	159,789株	2023年10月期	159,789株
③ 期中平均株式数	2024年10月期	8,117,451株	2023年10月期	8,117,451株

(参考) 個別業績の概要

1. 2024年10月期の個別業績(2023年11月1日~2024年10月31日)

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年10月期	13,357	1.8	△98	—	52	△73.7	△176	—
2023年10月期	13,121	△0.3	△41	—	199	235.0	97	△33.1
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2024年10月期	△21.73		—					
2023年10月期	12.01		—					

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2024年10月期	3,515		1,398		39.5		171.27	
2023年10月期	3,650		1,574		42.9		193.00	

(参考) 自己資本 2024年10月期 1,390百万円 2023年10月期 1,566百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料5ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 今後の見通し	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(連結損益計算書関係)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	18
(収益認識関係)	18
(重要な後発事象)	18

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善があり、経済活動の正常化が進む等、緩やかに回復しつつありますが、中東情勢やウクライナ情勢の長期化、欧米のインフレ懸念、急激な為替変動、原油・原材料価格等の高騰、中国経済の先行き不安及び米国の大統領選挙の影響等、国内外における経済的な見通しは不透明な状況が続いております。

当社グループが関連する小売業界全体では、物価高や急激な為替変動の影響により個人消費が鈍化してきているものの、当社グループが属するEC市場におきましては、EC利用が消費者の間で定着し、スマートフォンの普及に伴いEC化率が増加する等、引き続き市場拡大をしております。

このような状況の中、当社グループでは「ECで蓄えたマーケティングデータをアジアに循環させることで、お客様が望む商品開発や原材料の調達などアジア圏を跨ぐアジアンバリューチェーンを構築する」ことを掲げ、そのための重点投資の絞り込みを進めてまいりました。現状は「ECマーケティング事業」において、当社が企画し海外で生産した商品をお客様に直接お届けするD2Cの拡大投資を進めるとともに、新規事業として、既存のECモールでは実現しにくい特色ある自社ECサイトを多数構築し、それらを有機的に結合させることにより、自社ECサイト群を基礎としたプラットフォーム事業（名称：「Unique Stores Platform 事業」 以下「USP事業」。）の構築を第2四半期連結累計期間より開始し、構築した3店舗でのテスト検証は完了しております。翌連結会計年度においては、早期に10店舗まで立ち上げを実現し、本格的な事業展開のフェーズを目指してまいります。また、「商品企画関連事業」においては、アジアを中心に材料等の調達先を多角化するとともに、順調に拡大を続けている機能性繊維製品の製造能力を増強するため、ラオス人民民主共和国で製造子会社を設立し、工場稼働に向けて機械設備の搬入等の準備を進めてまいりました。

当連結会計年度につきましては、当社グループの主力事業であります「ECマーケティング事業」において、家具・生活雑貨に加えてD2C商品の売上が堅調に推移し、モール別ではAmazonで大幅な増収となったことにより、前年同期比で増収となりました。また、「商品企画関連事業」につきましては、第1四半期連結累計期間において取引先の販売低迷による出荷遅延の影響があったものの、第2四半期連結累計期間以降において出荷・納品が実行されたこと、及び当社中国子会社である青島新綻紡貿易有限会社の受注が好調な水準であったこと等から前年同期比で増収となり、結果として連結グループ全体の売上高は前年同期比で増収となりました。

利益面につきましては、「ECマーケティング事業」では、利益率の高いD2C商品の販売拡大及び物流施策等、各種利益改善の諸施策により利益率が改善した影響により増益となりました。「商品企画関連事業」につきましては、主として当社ベトナム子会社であるGenepa Vietnam Co., Ltd. 社において納期の集中による効率性の悪化等の影響を受け全体の利益率は低下したものの、青島新綻紡貿易有限会社の堅調な業績も寄与したことから事業全体としては増益を達成することができました。結果として連結グループ全体の営業利益は前年同期比で大幅な増益となりました。

なお、当連結会計年度におきまして、営業外費用において、急激な為替相場の変動により、主としてベトナム子会社に対する貸付金にかかる為替差損78百万円が計上されるとともに、特別損失において、当社及びGenepa Vietnam Co., Ltd. 社の固定資産の減損損失95百万円及び固定資産除却損3百万円が計上されることとなりました。翌連結会計年度においては、為替の影響を限定する施策を講じることを検討実施する予定です。

以上の結果、当連結会計年度における売上高は16,235百万円（前年同期比7.2%増）、営業利益は81百万円（前年同期は営業損失4百万円）、経常利益は22百万円（前年同期比69.0%減）、親会社株主に帰属する当期純損失は138百万円（前年同期は親会社株主に帰属する当期純損失23百万円）となりました。

セグメントの業績については、以下のとおりであります。なお、「受託開発事業」を報告セグメントとして記載しておりましたが、当連結会計期間より「受託開発事業」について、量的な重要性が乏しくなったことに伴い、「その他」の区分に含めております。

① ECマーケティング事業

「ECマーケティング事業」につきましては、在宅勤務の定着・巣ごもり需要等、変遷する消費者ニーズを的確に捉え、各種セールの実施や新生活アイテムを継続的に導入したことにより、家具・家電・生活雑貨等の販売が好調に推移し、売上高は前年同期比で増収となりました。また、利益面につきましては、新規事業に対する先行投資及び急激な為替変動による仕入価格の上昇の影響を受けたものの、売上高の増加や、D2C商品の販売拡大及び物流施策

としての上昇する配送コストの抑制や提携先倉庫の選択と集中を推進する等、各種利益改善に向けての取組みを継続した影響により、前年同期比で増益となりました。

以上の結果、売上高は13,287百万円（前年同期比3.6%増）となり、セグメント利益は290百万円（前年同期比15.3%増）となりました。

② 商品企画関連事業

「商品企画関連事業」につきましては、第1四半期連結累計期間における取引先の販売低迷による出荷遅延の影響があったものの、第2四半期連結累計期間以降において出荷・納品が進んだこと、及び青島新綻紡貿易有限会社の受注が好調な水準であったこと等により売上高は前年同期比で増収となりました。利益面につきましては、Genepa Vietnam Co., Ltd. 社での納期の集中及び、取引先拡大のための小ロット生産を戦略的に多数受注したことから一時的な効率性の悪化の影響を受け利益率が低下したものの、事業全体の営業利益は前年同期比で増益となりました。

以上の結果、売上高は2,899百万円（前年同期比30.6%増）となり、セグメント利益は82百万円（前年同期比78.1%増）となりました。

③ その他

「その他」につきましては、主に国、大学、企業の研究所との共同研究を通じて、システム、アプリケーションの受託開発やシステム開発の技術支援並びに運用保守を行う事業、及び、非物販事業としておしゃれなインテリア・雑貨雑貨等を紹介するWEBメディア事業を中心に収益拡大を図ってまいりました。しかしながら、掲載する記事数やPV数の拡大に向けた人員増加等への投資の他、前期において一部大手サービスの終了等に伴う減収があったことから、想定している売上高水準及び利益水準に至りませんでした。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末の総資産は、4,520百万円となり、前連結会計年度末に比べ102百万円増加となりました。

流動資産は、4,299百万円となり、前連結会計年度末に比べ236百万円増加となりました。主な要因といたしましては、運転資金の資金調達及びM&Aに関する資金の需要への備えを目的として締結したコミットメントライン契約による融資の増加で現金及び預金が143百万円増加、取引高の増加による受取手形及び売掛金が20百万円増加、今後の販売に向けた部材調達や生産増加により原材料及び貯蔵品が17百万円増加したこと等によるものであります。

固定資産は、221百万円となり、前連結会計年度末に比べ133百万円減少となりました。主な要因といたしましては、当社及びGenepa Vietnam Co., Ltd. 社において減損損失を計上したこと等により、工具、器具及び備品が66百万円減少、機械装置及び運搬具が33百万円減少、建物及び構築物が12百万円減少、減価償却累計額が64百万円減少し、有形固定資産が64百万円減少、ソフトウェアが35百万円減少したこと等で、無形固定資産が55百万円減少したこと等によるものであります。

(負債の状況)

負債は、2,753百万円となり、前連結会計年度末に比べ245百万円増加となりました。

流動負債は、2,661百万円となり、前連結会計年度末に比べ275百万円増加となりました。主な要因といたしましては、運転資金の資金調達及びM&Aに関する資金の需要への備えとして締結したコミットメントライン契約による融資の増加で短期借入金が130百万円増加、商品確保のための仕入等により支払手形及び買掛金が49百万円増加したこと等によるものであります。

固定負債は、91百万円となり、前連結会計年度末に比べ30百万円減少となりました。主な要因といたしましては、返済により長期借入金が15百万円減少した他、リース債務が17百万円減少したこと等によるものであります。

(純資産の状況)

純資産は、1,767百万円となり、前連結会計年度末に比べ143百万円減少となりました。主な要因といたしましては、親会社株主に帰属する当期純損失138百万円の計上等によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ313百万円増加し、1,206百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、獲得した資金は261百万円（前連結会計年度は119百万円の獲得）となりました。これは主に減損損失95百万円、減価償却費76百万円を計上したのに加え、仕入債務の増加額52百万円、賞与引当金の増加額32百万円等の資金の増加要因があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、獲得した資金は78百万円（前連結会計年度は319百万円の使用）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出39百万円、無形固定資産の取得による支出38百万円等の資金の減少がありましたが、定期預金の払戻による収入159百万円等の資金の増加要因があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、獲得した資金は10百万円（前連結会計年度は236百万円の使用）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出69百万円、連結範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出26百万円等の資金の減少要因がありましたが、短期借入金の増加額130百万円等の資金の増加要因があったことによるものであります。

（参考） キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2020年10月期	2021年10月期	2022年10月期	2023年10月期	2024年10月期
自己資本比率（％）	46.3	45.9	42.5	42.5	38.9
時価ベースの自己資本比率（％）	171.9	89.8	71.8	49.4	43.8
キャッシュ・フロー対有利子負債比率（年）	0.7	—	5.8	7.7	3.7
インタレスト・カバレッジ・レシオ（倍）	237.2	—	216.6	81.4	44.1

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュフロー

インタレスト・ガバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

（注1） いずれも連結ベースの財務数値により計算しています。

（注2） 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しています。

（注3） キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しています。

（注4） 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としています。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

（注5） 2021年10月期のキャッシュ・フロー対有利子負債比率及びインタレスト・ガバレッジ・レシオについては、営業キャッシュ・フローがマイナスのため表示しておりません。

(4) 今後の見通し

当社グループを取り巻く経営環境は、急激な為替変動、原油高による輸送コストの増大、EC市場の継続的な拡大による競争の激化、エネルギー・原材料の高騰等変動の激しい状況下にあります。

当社グループは2014年上場前の売上高36億円から現在160億円を超えるところまで成長してまいりましたが、ここ数年においては、新型コロナウイルス感染症や社会情勢の変化への対応に追われ、結果として安定志向だと思われる成長率にとどまっておりました。ここで、当社グループは今一度初心に戻り、「世代を超えた人と人との架け橋」の経営理念の下、この大きな変動を最大の機会と捉え、新たな高い成長に挑戦するための事業の構築を強力に推進することといたします。

ECマーケティング事業におきましては、売上高の加速度的な成長を志向し、新規事業であるUSP事業を早期に本格的な事業展開フェーズまで持っていくべくスピード感を持って取り組んでまいります。既存のモールを中心としたマーケティング事業については、引き続き取扱商品の増加を図るとともにD2C商品の投入を加速させ、利益率の向上を図ってまいります。また、当社内に蓄積されたマーケティングデータを活用したECサポート事業についても国内のみならず海外からの受注をとるべく注力していく方針であります。

商品企画関連事業におきましては、商品提案及び新規顧客開拓を引き続き推進し販売先の多国籍化を進めるとともに、増加する受注に対応するべく新たな拠点であるラオス工場の生産をスタートさせ、併せて提携サプライヤーとの関係強化を図ってまいります。また、自社グループでのプライベート商品の開発にも注力し、日本だけでなく海外の展示会にも積極的に出展してまいります。

その他に分類される受託開発事業に関しては、主に国、大学、企業の研究所との共同研究を通じて、システム、アプリケーションの受託開発やシステム開発の技術支援並びに運用保守を行う事業であり安定的な受注を見込んでおります。同じくその他に分類されるメディア事業は非物販事業としておしゃれなインテリア・雑貨等を紹介するWEBメディア事業であり、今後は他社企業との協業や、USP事業への記事提供を推進していく方針であります。

また、財務的な為替リスクに対しては、対応施策を確実に実行し為替の変動リスクを軽減することで安定した利益を計上していく方針であります。併せて2024年10月期において本社及び海外子会社の減損損失を大幅に実行したことで来期以降の経営体制の強化を見込んでおります。

2025年10月期の連結業績見通しにつきましては、売上高17,500百万円（前年同期比7.8%増）、営業利益120百万円（前年同期比46.8%増）、経常利益120百万円（前年同期比438.4%増）、親会社株主に帰属する当期純利益90百万円（前年同期は親会社株主に帰属する当期純損失138百万円）を予想しております。

また、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。なお、国内外の諸情勢を考慮の上、必要に応じて国際財務報告基準（IFRS）の適用を検討する方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年10月31日)	当連結会計年度 (2024年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,104,747	1,248,482
受取手形及び売掛金	1,165,221	1,185,874
商品及び製品	1,331,774	1,293,278
仕掛品	24,207	34,727
原材料及び貯蔵品	126,000	143,499
その他	325,021	401,295
貸倒引当金	△13,661	△7,547
流動資産合計	4,063,311	4,299,610
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	18,197	5,768
機械装置及び運搬具	93,327	59,459
工具、器具及び備品	78,726	11,765
リース資産	88,183	72,793
減価償却累計額	△141,148	△76,614
有形固定資産合計	137,285	73,172
無形固定資産		
のれん	92,458	72,993
ソフトウェア	43,817	8,180
その他	23	—
無形固定資産合計	136,299	81,173
投資その他の資産		
繰延税金資産	18,396	6,886
その他	62,539	59,860
投資その他の資産合計	80,935	66,746
固定資産合計	354,520	221,091
資産合計	4,417,831	4,520,702
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	983,305	1,032,530
短期借入金	760,000	890,000
1年内返済予定の長期借入金	69,353	15,750
リース債務	21,320	18,044
未払法人税等	34,264	19,784
賞与引当金	78,262	110,645
未払金	321,687	346,020
その他	117,506	228,902
流動負債合計	2,385,699	2,661,678
固定負債		
長期借入金	15,750	—
リース債務	53,229	35,396
資産除去債務	11,824	11,110
繰延税金負債	40,963	45,250
固定負債合計	121,767	91,757
負債合計	2,507,467	2,753,436

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年10月31日)	当連結会計年度 (2024年10月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	627,117	627,117
資本剰余金	620,267	619,410
利益剰余金	723,455	584,659
自己株式	△90,620	△90,620
株主資本合計	1,880,220	1,740,567
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△3,733	18,713
その他の包括利益累計額合計	△3,733	18,713
新株予約権	7,983	7,983
非支配株主持分	25,893	—
純資産合計	1,910,364	1,767,265
負債純資産合計	4,417,831	4,520,702

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年11月1日 至 2023年10月31日)	当連結会計年度 (自 2023年11月1日 至 2024年10月31日)
売上高	15,151,862	16,235,491
売上原価	11,136,122	11,970,080
売上総利益	4,015,740	4,265,410
販売費及び一般管理費	4,020,553	4,183,644
営業利益又は営業損失(△)	△4,813	81,766
営業外収益		
受取利息	13,571	9,242
為替差益	11,634	—
受取保険金	5,236	5,265
助成金収入	60	4,947
補助金収入	54,238	1,966
その他	7,601	4,606
営業外収益合計	92,342	26,028
営業外費用		
支払利息	2,828	4,821
為替差損	—	78,674
支払手数料	2,122	1,935
外国付加価値税等	8,476	—
その他	2,160	75
営業外費用合計	15,588	85,507
経常利益	71,940	22,286
特別損失		
減損損失	3,813	95,081
固定資産除却損	—	3,335
特別損失合計	3,813	98,416
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	68,127	△76,129
法人税、住民税及び事業税	41,754	47,330
法人税等調整額	44,382	15,335
法人税等合計	86,136	62,666
当期純損失(△)	△18,009	△138,795
非支配株主に帰属する当期純利益	5,323	—
親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△23,333	△138,795

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年11月1日 至 2023年10月31日)	当連結会計年度 (自 2023年11月1日 至 2024年10月31日)
当期純損失(△)	△18,009	△138,795
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	3,833	21,925
その他の包括利益合計	3,833	21,925
包括利益	△14,176	△116,870
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△19,593	△116,870
非支配株主に係る包括利益	5,417	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年11月1日 至 2023年10月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	627,117	620,267	819,846	△90,620	1,976,610
当期変動額					
剰余金の配当			△73,057		△73,057
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△23,333		△23,333
連結子会社株式の追加取得による持分の増減					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	△96,390	—	△96,390
当期末残高	627,117	620,267	723,455	△90,620	1,880,220

	その他の包括利益累計額		新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	△7,473	△7,473	7,983	20,476	1,997,597
当期変動額					
剰余金の配当					△73,057
親会社株主に帰属する当期純損失(△)					△23,333
連結子会社株式の追加取得による持分の増減					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	3,740	3,740	—	5,417	9,157
当期変動額合計	3,740	3,740	—	5,417	△87,233
当期末残高	△3,733	△3,733	7,983	25,893	1,910,364

当連結会計年度(自 2023年11月1日 至 2024年10月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	627,117	620,267	723,455	△90,620	1,880,220
当期変動額					
剰余金の配当					—
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△138,795		△138,795
連結子会社株式の追加取得による持分の増減		△856			△856
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	△856	△138,795	—	△139,652
当期末残高	627,117	619,410	584,659	△90,620	1,740,567

	その他の包括利益累計額		新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	△3,733	△3,733	7,983	25,893	1,910,364
当期変動額					
剰余金の配当					—
親会社株主に帰属する当期純損失(△)					△138,795
連結子会社株式の追加取得による持分の増減				△25,893	△26,749
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	22,447	22,447	—	—	22,447
当期変動額合計	22,447	22,447	—	△25,893	△143,098
当期末残高	18,713	18,713	7,983	—	1,767,265

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年11月1日 至 2023年10月31日)	当連結会計年度 (自 2023年11月1日 至 2024年10月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	68,127	△76,129
減価償却費	76,168	76,044
減損損失	3,813	95,081
固定資産除却損	—	3,335
のれん償却額	21,696	19,464
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△613	△5,888
賞与引当金の増減額(△は減少)	△25,250	32,383
受取利息及び受取配当金	△13,572	△9,243
支払利息	2,828	4,821
為替差損益(△は益)	21,528	21,526
売上債権の増減額(△は増加)	76,753	△20,993
棚卸資産の増減額(△は増加)	△18,768	7,056
仕入債務の増減額(△は減少)	△55,699	52,192
未払金の増減額(△は減少)	△42,507	27,254
その他	82,642	41,388
小計	197,145	268,295
利息及び配当金の受取額	13,571	9,243
利息の支払額	△1,465	△5,921
法人税等の支払額	△91,586	△62,573
法人税等の還付額	1,617	52,221
営業活動によるキャッシュ・フロー	119,283	261,265
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△55,188	△39,802
有形固定資産の売却による収入	—	2,169
無形固定資産の取得による支出	△27,950	△38,065
定期預金の預入による支出	△210,884	—
定期預金の払戻による収入	—	159,641
その他	△25,897	△5,459
投資活動によるキャッシュ・フロー	△319,920	78,483
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(△は減少)	△70,000	130,000
長期借入金の返済による支出	△90,204	△69,353
配当金の支払額	△72,850	△100
リース債務の返済による支出	△3,927	△23,994
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△26,227
財務活動によるキャッシュ・フロー	△236,981	10,325
現金及び現金同等物に係る換算差額	△18,961	△36,368
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△456,580	313,705
現金及び現金同等物の期首残高	1,349,618	893,038
現金及び現金同等物の期末残高	893,038	1,206,743

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結損益計算書関係)

減損損失

前連結会計年度(自2022年11月1日至2023年10月31日)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自2023年11月1日至2024年10月31日)

当社グループは、以下の資産グループについて減損損失を計上しました。

場所	用途	種類
東京都新宿区西新宿	事業用資産 共用資産	建物及び構築物 機械装置及び運搬具 工具、器具及び備品 リース資産 ソフトウェア その他
ベトナム社会主義共和国 ビンズン省	事業用資産	機械装置及び運搬具 工具、器具及び備品

当社グループは、主として管理会計上の単位を資産グループの基礎とし、独立したキャッシュ・フローを生み出す最小単位でグルーピングを行っております。

当社及びGenepa Vietnam Co., Ltd. 社につきましては、営業活動から生ずる損益が継続してマイナスであるため、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として95,081千円(内、東京都新宿区西新宿：ソフトウェア56,638千円、機械装置及び運搬具19,068千円、他9,078千円、ベトナム：機械装置及び運搬具8,549千円、他1,746千円)を特別損失に計上いたしました。

なお、当資産グループの回収可能価額は、使用価値によって測定しておりますが、将来キャッシュ・フローが見込めないため、回収可能価額をゼロとして評価しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、「ECマーケティング事業」、「商品企画関連事業」を報告セグメントとしております。

「ECマーケティング事業」は、マーケティングの基礎となるビッグデータを、当社グループの運営するECサイトや、楽天市場、Yahoo!ショッピング、Amazon等のECモール及びインターネット全体から収集・分析し、当社グループと取引のあるメーカー及び卸売事業者から提案された商品について、消費者の購買につながる可能性の高いキーワード、商品画像、価格等を設定し、当社グループECサイトで販売を行う事業となります。

「商品企画関連事業」は、取引先のサポートを行うために当該ビッグデータを活用した取引先商品の企画を中心に行う事業となります。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成のために採用している会計処理基準に基づく金額により記載しております。

3. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報
前連結会計年度(自 2022年11月1日 至 2023年10月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務諸表計上額 (注) 3
	ECマーケティング 事業	商品企画関連事業	計				
売上高							
顧客との契約から 生じる収益	12,807,613	2,194,546	15,002,159	149,702	15,151,862	-	15,151,862
外部顧客への 売上高	12,807,613	2,194,546	15,002,159	149,702	15,151,862	-	15,151,862
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	23,082	26,418	49,501	150,558	200,060	△200,060	-
計	12,830,696	2,220,964	15,051,661	300,261	15,351,922	△200,060	15,151,862
セグメント利益	252,226	46,128	298,355	85,160	383,515	△388,328	△4,813
セグメント資産	2,367,870	1,540,454	3,908,325	26,751	3,935,076	482,754	4,417,831
その他の項目							
減価償却費	11,161	60,160	71,322	-	71,322	4,845	76,168
のれんの償却額	19,464	2,231	21,696	-	21,696	-	21,696
有形固定資産及び無 形固定資産増加額	12,176	53,509	65,686	-	65,686	781	66,467

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソフトウェアの受託開発、システム開発事業及びメディア事業を含んでおります。
2. 調整額は以下のとおりであります。
- (1) セグメント利益の調整額△388,328千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△388,328千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- (2) セグメント資産の調整額482,754千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産は主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る資産であります。
- (3) 減価償却費の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社資産に係るものであります。
- (4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額781千円は、提出会社の管理部門に係る有形固定資産の増加額781千円であります。
3. セグメント利益又は損失は、連結損益計算書の営業利益又は損失と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2023年11月1日 至 2024年10月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務諸表計上額 (注) 3
	ECマーケティング 事業	商品企画関連事業	計				
売上高							
顧客との契約から 生じる収益	13,267,153	2,886,742	16,153,896	81,595	16,235,491	—	16,235,491
外部顧客への 売上高	13,267,153	2,886,742	16,153,896	81,595	16,235,491	—	16,235,491
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	20,692	12,763	33,455	45,482	78,937	△78,937	—
計	13,287,846	2,899,505	16,187,351	127,077	16,314,429	△78,937	16,235,491
セグメント利益	290,761	82,155	372,917	7,556	380,473	△298,707	81,766
セグメント資産	2,410,979	1,593,632	4,004,612	37,254	4,041,866	478,835	4,520,702
その他の項目							
減価償却費	16,063	54,527	70,590	—	70,590	5,454	76,044
のれんの償却額	19,464	—	19,464	—	19,464	—	19,464
有形固定資産及び無 形固定資産増加額	39,862	38,213	78,075	—	78,075	228	78,304

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソフトウェアの受託開発、システム開発事業及びメディア事業を含んでおります。
2. 調整額は以下のとおりであります。
- (1) セグメント利益の調整額△298,707千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△298,707千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 - (2) セグメント資産の調整額478,835千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産は主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る資産であります。
 - (3) 減価償却費の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社資産に係るものであります。
 - (4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額228千円は、提出会社の管理部門に係る有形固定資産の増加額228千円であります。
3. セグメント利益又は損失は、連結損益計算書の営業利益又は損失と調整を行っております。
- 4 報告セグメントの変更等に関する事項
- 前連結会計期間において「受託開発事業」を報告セグメントとして記載しておりましたが、当連結会計期間より「受託開発事業」について、量的な重要性が乏しくなったことに伴い、「その他」の区分に含めております。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2022年11月1日 至 2023年10月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

(単位：千円)

日本	中国	ベトナム	合計
21,316	85,858	30,110	137,285

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

当連結会計年度(自 2023年11月1日 至 2024年10月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

(単位：千円)

日本	中国	ベトナム	合計
6,062	67,109	—	73,172

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2022年11月1日 至 2023年10月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			その他	全社・消去	合計
	ECマーケティング事業	商品企画関連事業	計			
減損損失	—	3,813	3,813	—	—	3,813

当連結会計年度(自 2023年11月1日 至 2024年10月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			その他	全社・消去	合計
	ECマーケティング事業	商品企画関連事業	計			
減損損失	56,022	29,364	85,386	—	9,694	95,081

(注) 「全社・消去」の金額は、セグメントに帰属しない共用資産に係る減損損失であります。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2022年11月1日 至 2023年10月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			報告セグメント計	全社・消去	合計
	ECマーケティング事業	商品企画関連事業	計			
当期償却額	19,464	2,231	21,696	21,696	—	21,696
当期末残高	92,458	—	92,458	92,458	—	92,458

当連結会計年度(自 2023年11月1日 至 2024年10月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			報告セグメント計	全社・消去	合計
	ECマーケティング事業	商品企画関連事業	計			
当期償却額	19,464	—	19,464	19,464	—	19,464
当期末残高	72,993	—	72,993	72,993	—	72,993

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度(自 2022年11月1日 至 2023年10月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2023年11月1日 至 2024年10月31日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年11月1日 至 2023年10月31日)	当連結会計年度 (自 2023年11月1日 至 2024年10月31日)
1株当たり純資産額	231円17銭	216円73銭
1株当たり当期純損失(△)	△2円87銭	△17円10銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額	—	—

(注) 1株当たり当期純損失及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2022年11月1日 至 2023年10月31日)	当連結会計年度 (自 2023年11月1日 至 2024年10月31日)
1株当たり当期純損失(△)		
親会社株主に帰属する当期純損失(△) (千円)	△23,333	△138,795
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純損失(△) (千円)	△23,333	△138,795
普通株式の期中平均株式数(株)	8,117,451	8,117,451
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式の概要	第4回新株予約権 1,590個 (普通株式159,000株)	第4回新株予約権 530個 (普通株式53,000株) 第4回新株予約権は、2024年10月31日をもって権利不確定により106,000株が失効しております。

(注) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため、記載しておりません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記情報(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。